



神奈川県立相模原城山高等学校グランドデザイン

スクール・ミッション

- 全日制の課程単位制普通科を設置する高校として、生徒の特性や地域・学校等の実情を踏まえ、年次ごとに共通に学ぶ科目を設けつつも、多様な選択科目から生徒が選択履修することができる単位制の利点を生かしながら、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に応えるよう、学力の育成、豊かな人間性や社会性の涵養、社会的・職業的な自立等をめざした教育課程を適切に編成する。
- 様々な個性を相互に尊重し、よりよい人間関係の構築と自立を目指した指導、支援の充実を図るとともに、部活動やボランティア活動を通して主体性と協調性を育み、社会に貢献できる人材の育成を目指した教育活動に取り組む。
- これからの時代に求められる情報活用能力、自ら課題を発見し解決する能力、論理的思考力の育成に向けて、協働的な学びの機会を多く設定するとともに、主体的・対話的で深い学びの実現をめざした不断の授業改善の実施等、教育活動の充実に取り組む。

学校教育目標

心身ともに健康で豊かな情操と高い教養を身につけ、社会の有為な形成者として必要な資質を持つ人物の育成

グラデュエーション・ポリシー

- 自分の良さや可能性を見出し、物事に積極的にチャレンジする力を育みます。
- これからの時代に求められる情報活用能力を育みます。
- 社会に貢献できる人材を育成するため、自ら課題を発見し解決する力、論理的思考力を育みます。
- 他者と協働する力、互いに学び高め合う力を育みます。

カリキュラム・ポリシー

- 単位制の利点を生かし、生徒一人ひとりの興味・関心や進路等の目標の実現に応えることができるよう、幅広く多様な選択科目から履修することができるカリキュラムを編成しています。
- 充実したICT環境に加えて、情報教育に関する専門的な選択科目を活用しながら、情報活用能力の伸長を図ります。
- 地域と密着した「地域研究」「幼児教育研究」等の選択科目や「集中講座」「インターンシップ」を活用することで、多様な体験活動を行い、課題解決能力や他者と協働する力を身につけます。

アドミッション・ポリシー

- 本校の特徴や教育目標を理解し、自ら進んで学ぶ意思のある生徒
- 自分の良さや可能性を見出し、目標の実現に向けて粘り強く取り組む生徒
- 中学校等における学びや経験を踏まえて、他者と積極的に協働し、学校行事や部活動、ボランティア活動に主体的に取り組む努力ができる生徒

	教育課程・学習指導	生徒指導・支援	進路指導・支援	地域との協働	学校管理・学校運営
目標	○生徒の学習意欲を高めるため、組織的な授業改善の充実に取り組む。単位制の利点を生かせる教育課程を実践する。 ○Ⅲ期「ICT 利活用」「プログラミング教育」の研究推進校として、研究と実践を深める。	○学校行事や部活動の活性化を通して、生徒の主体性と協調性を育み、社会性の涵養を図る。 ○生徒一人ひとりに対するきめ細かな支援と規律正しい学校生活への指導の充実を図る。	○進路希望の実現に向けて、生徒一人ひとりが主体的に目標を設定し、計画的に実行できる指導・支援の推進を図る。 ○生徒の多様な進路実現に向けて、有益かつ早く正確な情報提供を行う。	○地域との交流や協働を深め、地域に信頼され開かれた学校づくりを推進する。 ○外部(近隣小中学校・大学・専門学校等)との連携や協働を強化し、地域の教育力を積極的に取り入れる。	○生徒の安全・安心な学校生活を維持するため、すべての職員が様々な変化に速やかに対応し、積極的に課題に取り組む組織を構築する。 ○風通しの良い職場環境を心掛け、事故・不祥事防止に努める。また、学校運営協議会を活用することで、組織的な課題解決力の向上を図る。
主な方策	○指定校事業を活用し、組織的な授業改善に取り組む。授業では、調べ学習や発表の機会を多く設け、ICTの効果的な活用方法を研究し、情報共有を行う。 ○全ての科目でプログラミング的な思考を意識した授業展開を行う。公開研究授業を行う。	○学校行事では、生徒主体の活動を実践し、新しい工夫を取り入れる。また、部活動への積極的な参加と入部を促す。交通安全教育を強化し、スクアードストリートを実施する。 ○様々な場面で生徒情報を共有し、SC・SSWと連携しながら適時にケース会議を実施する。相談窓口を広げ周知する。学校生活アンケートを実施する。	○年次進行に合わせて、計画的で効果的なガイダンスを実施する。三者面談を活用し、個々の進路に応じた、きめ細かい進路指導を行う。 ○「総合的な探究の時間」の進路探究活動、校外での体験や外部テストの活用を充実を図る。また、生徒の進路選択に正確で有益な情報提供を行う。	○本校の教育活動の情報をホームページや広報誌等で、地域や保護者に積極的に発信する。 ○外部との連携や協働に、多くの生徒が積極的に参加できるように工夫し、地域の教育力を活用する。	○グループや職員間の連携と協働を意識し、連絡や相互の声掛けを大切にすることで、相談しやすい職場環境を整える。 ○効果的な研修を実施し、教職員一人ひとりが、自身の問題として考えられるよう工夫することで事故・不祥事防止に努める。

校訓・沿革・伝統 / 特色のある学校行事等

- 県立高校改革実施計画(Ⅱ期)に基づき、県立城山高等学校と県立相模原総合高等学校を再編統合し、新たに単位制普通科の高等学校として新校名を「神奈川県立相模原城山高等学校」として、令和5(2023)年4月1日に開校する。
- 県立高校指定校事業(令和4年度指定)において、「ICT利活用授業研究推進校」「プログラミング教育研究推進校」の指定を受ける。